



Link to Tomorrow

つながり・きずな・結びつき

討議資料

はや

かわ

早川 なおひで

市民が誇れる
足利へ。

今、ともに力を合わせて。

早川なおひで プロフィール

昭和47年 足利市生まれ。現在48歳。
平成7年 早稲田大学政治経済学部卒業
 (株)足利銀行入行
平成15年 栃木県議会議員初当選。以降5期連続当選
平成28年 第110代 栃木県議会副議長 就任

令和元年 第106代 栃木県議会議長 就任
 全国都道府県議会議長会
 国土交通委員長 就任
令和3年 栃木県議会議員辞職 現在に至る

栃木県⇄足利市における活動実績

災害への対応

- 防災・減災のために「緊急防災・減災対策事業」、「緊急堤防強化事業」を制度化。
- 台風19号災害の際に、栃木県議会に初めて「栃木県議会災害対策本部」を設置し、本部長に就任。議員の行動規範を示し、各地議員からの情報・意見・要望を取りまとめた。また、全国都道府県議会議長会・国土交通委員長として、各都道府県からの意見を取りまとめ、国に緊急要望書を提出。さらに、被災県の議長に声をかけ、国の関係省庁に対し最大限の支援を要請する活動を繰り返し実行した。
- 安足土木事務所に「可搬式ポンプ」を配備。さらに「排水ポンプ車」を配備(5月予定)。
- コロナにより経営が厳しい県内事業者への資金繰り支援を目的にして、政府系金融機関を交えた県内金融機関会議を開催。
- 看護連盟・看護協会のご協力のもと、「認定看護師」が福祉施設を訪問し、施設の感染対策を指導する「新型コロナウイルス感染症対応力強化事業」を実現。
- 新型コロナ対応として、市内小学校関係の感染発生に対する保護者の心配に応え、PCR検査実施を栃木県に要請。

関係人口の創出

- 5県議会議長会(北関東3県+新潟県、福島県)を足利市で初めて開催。足利市の歴史文化と魅力をPR。
- 外国の中学校の修学旅行を足利市に誘致。白鷗中・高のご協力で交流行事を開催。さらに商工会議所のご支援で足利流5Sを受講。
- JRデスティネーションキャンペーンの「エクスカーション(視察旅行)」を足利市に誘致。市内に宿泊し周遊するコースを設定。
- 2022栃木国体&NHK大河ドラマにあわせ、県立博物館にて「足利氏」の展示を提案。開催予定。



ごあいさつ

強い足利市の復活へ。 未来志向でチャレンジ。

突如発生した新型コロナウイルス感染症により、私たちは「新たな日常」への対応を迫られ、働き方や価値観の変化が顕著になってきています。

このような社会全体の変革を乗り越えていくうえで、各自治体の力が問われています。足利市にも、**自ら政策を考え実行する力**や、多方面とのネットワーク等が求められています。

“未来志向”でチャレンジする足利市へと転換していかなければなりません。

特に市民、市議会、企業、団体等あらゆる主体が力を合わせ、総力戦で挑むために、足利市行政がマグネットとしての役割を果たし、**民間の活動を後押しする力**になる必要があります。**ブレーキ行政ではなくアクセル行政へ**の展開を図っていきます。

さらには、行政運営においても**民間の感覚**を大切にしながら、**スピード感**のある判断・行動ができますよう、**改革の気概**を持って取り組んでいきます。

次の100年への新しい一歩を皆様とともに踏み出すために、私がこれまでの人生で、そして18年の県議会議員活動で身につけた全てをぶつけ、力を尽くしてまいります。



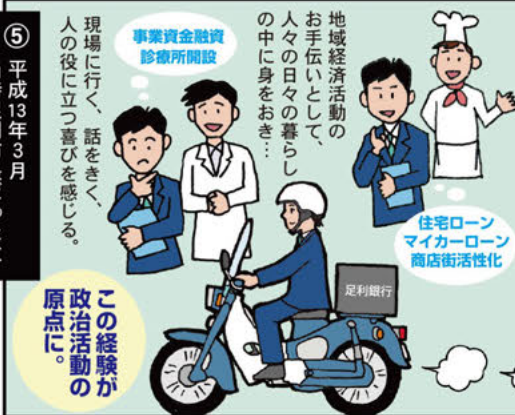
早川なおひで物語

明日の笑顔のために

① 昭和47年(一九七二年)
足利市に生まれ



④ 得意先係として
毎日バイクで外回りに励む。



⑤ 平成13年3月
当時足利市長だった父
早川一夫が急逝。



⑦ 政策や予算を執行
部と議論して作り上
げていく事にやりが
いを感じ、議論の必
要性、重要性を痛感。



⑧ 台風19号の際に被
災県の意見を取りま
とめ関係省庁に要望
活動を懸命に行う。



次の100年のための

5つの柱+1

PLUS ONE

詳細は
ホームページを
ご覧ください▶



+1
PLUS ONE

喫緊の課題である
「新型コロナウイルス感染症」対策

医療先進地域として、医療関係者との連携強化と対応改善

- 遅れているコロナ対策への対応改善(市長直属のコロナ対策組織の設置)
- 医療関係者のご理解・ご協力のもと、検査・診療体制を整備
- 正確でタイムリーな情報を積極的に公表
- コロナを起因としたいじめ対策と心のケアの実施 など

暮らしと経済を立て直す施策

- 市内有識者※ による幅広い観点からの意見聴取会議の設置
※医療、経済、労働、教育、金融、行政、報道等
- 議会内に支援組織の設置を要望
- 地域の経済活動を維持するための支援



1

子育てのまち・教育のまち

教育の充実・学力向上・子育て支援の拡大

- 子育て世代の声を取り入れた切れ目ない支援、地域での子育て支援の仕組みづくりを行います。
- 新「足利高校」スタートに合わせ市独自の義務教育の充実を図り、「足利学校のあるまち」にふさわしい教育環境を作ります。



2 産業のまち

官民連携・企業誘致・人材確保

- 地元産業を支援するとともに、地域をけん引する企業誘致・企業集積を促進し、安定した仕事を創出します。
- 未来技術を活用し成長産業としての農林業を確立します。



3 歴史・文化都市の創造

交流人口の拡大から移住・定住へ

- 通勤圏の強みを活かした若者の定着や、移住者・定住者の増加を図る施策を展開します。
- 地域資源を活かした周遊型観光の確立や文化・スポーツを通じて、交流人口の増加を図ります。



4 安全に安心して暮らせるまち

防災対策強化・迅速な危機管理

- 「流域治水」の観点から、ソフト・ハード両面で地域の防災力を強化します。
- 県警察の活動を支え、地域の防犯力を高めます。



5 民間の活動を応援するまち

徹底した行財政改革の断行

- 実体経済に合わせた規制改革を断行します。
- 公務員の働き方改革と生産性向上を進めます。
- 行政サービスの充実に必要な財源の確保に取り組みます。



私が取り組みたいこと。 実現したいこと。

大きな夢
プロジェクト
×
未来志向

「持続可能なまち」・「学問の聖地」創出のためのグランドデザイン

ふるさとに活力を

- 東武線、JR線、北関東道を貴重な資源と捉え、東西南北・中央の各エリアの特性を活かした地域づくりを進めます。
- 国道50号の沿線、北関東道足利インターチェンジ周辺の開発、新スマートインターチェンジの早期完成、及び農業振興を進めます。

ふるさとに誇りを

- 足利氏をはじめとする、現存する歴史文化遺産を展示・活用する郷土観光施設の充実を検討します。
- 足利学校を学問の聖地として顕彰するとともに、生涯学習を推進し、市民の郷土意識醸成と地域振興につなげます。

ふるさとに未来を

- 国道293号を南へ延伸し、利根川新橋へとつなぐ南北軸となる幹線道路を整備します。
- SDGs未来都市の認定取得を目指します。

早川なおひでSNS

公式LINE・Twitter
活動や、政策などを発信していきます！
ぜひ、お友達登録をお願い致します！
登録カンタン！下記、QRコードを
読み込み、登録完了！



[ホームページ・YouTube]

早川なおひで で検索！

YouTube(早川なおひでチャンネル)を
開設しました。ぜひご覧下さい！



詳細はホームページを
ご覧ください▼



早川なおひで後援会連絡事務局

TEL.0284-72-8338 FAX.0284-70-0284

<http://www.hayakawa-n.jp>

早川なおひで 後援会ご入会申込書

世帯主	ふりがな ----- お電話番号() -	ご住所 〒 足利市
	ふりがな ----- お電話番号() -	ご住所 〒 足利市
ご家族	ふりがな ----- お電話番号() -	ふりがな ----- お電話番号() -
	ふりがな ----- お電話番号() -	ふりがな ----- お電話番号() -
ご紹介者	様 お電話番号() -	ご住所 〒 足利市
	様 お電話番号() -	ご住所 〒 足利市

皆様のご意見をお聞かせください

----- ----- ----- -----

早川なおひで後援会連絡事務局 TEL.0284-72-8338 FAX.0284-70-0284

ご提供いただいた個人情報については、「早川なおひで後援会」活動のみで使用いたします。